

# 2012年3月期第1四半期

## 決算概要



(注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。

(例:2012年3月期は「2011年度」と表記)

資料内の「1Q」表記は4月から6月までの期間を指します。

# 目次

---

2011年度第1四半期決算概要	.....	1
2011年度業績見通し概要	.....	2
2011年度個別業績見通し①	.....	3
2011年度個別業績見通し②	.....	4
株主還元方針	.....	5

---

# 2011年度第1四半期決算概要

1

## ■連結 2008年度第1四半期決算以来、3年ぶりの増収減益

(億円, %)

	2011/1Q	2010/1Q	増減	
	(A)	(B)	(A-B)	(A-B)/B
売上高	5,393	5,263	129	2.5
営業利益	222	598	△ 375	△ 62.8
経常利益	200	512	△ 312	△ 60.9
四半期純利益	15	256	△ 240	△ 94.0

(億円未満切り捨て)

## ■個別 2008年度第1四半期決算以来、3年ぶりの増収減益

(億円, %)

	2011/1Q	2010/1Q	増減	
	(A)	(B)	(A-B)	(A-B)/B
売上高	5,074	4,990	83	1.7
営業利益	190	579	△ 389	△ 67.2
経常利益	192	487	△ 295	△ 60.6
四半期純利益	12	239	△ 226	△ 94.7

(億円未満切り捨て)

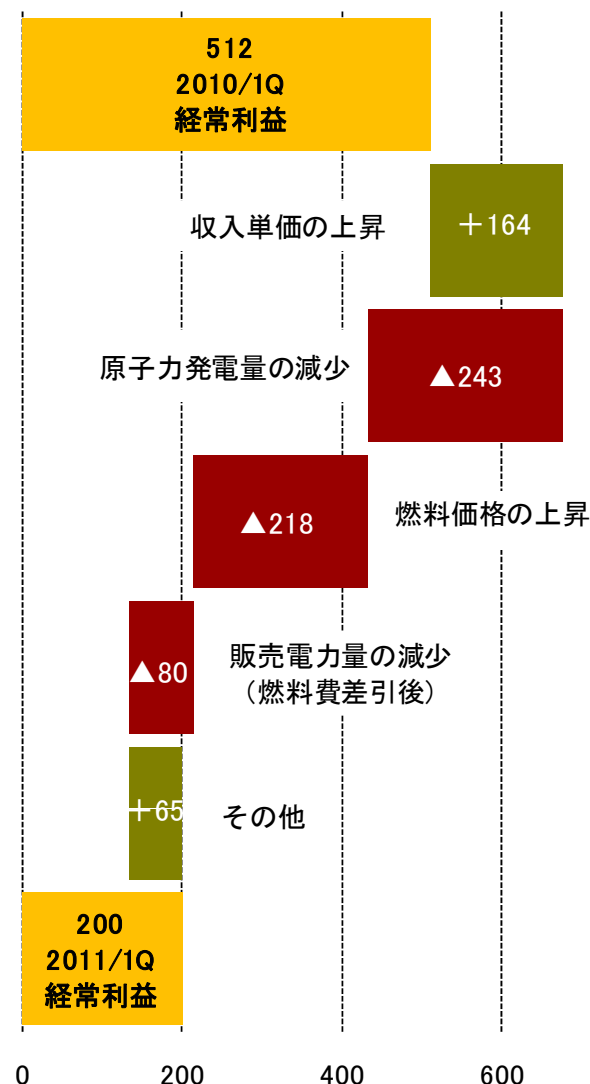
## ■主要諸元

項目		2011/1Q	2010/1Q	増減	
		(A)	(B)	(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	(億kWh)	294	303	△ 9	
原油CIF価格	(\$/b)	115.0*	81.3	33.7	
為替レート(インターバンク)	(円/\$)	82	92	△ 10	
原子力利用率	(%)	33.1	64.2	△ 31.1	

※ 2011年度第1四半期の原油CIF価格は速報値

## 【連結経常利益の変動要因】

(単位:億円)



# 2011年度業績見通し概要

2

## ■ 連結

(億円)

	2011年度 予想(今回) (A)	2011年度 予想(4月公表) (B)	2010年度 実績 (C)	増減 (対4月公表) (A)-(B)	増減 (対前期) (A)-(C)
売上高	24,400	25,300	23,308	△ 900程度	1,090程度
営業損益	△ 1,700	1,300	1,742	△ 3,000程度	△ 3,440程度
経常損益	△ 1,950	1,050	1,462	△ 3,000程度	△ 3,410程度
当期純損益	△ 1,400	550	845	△ 1,950程度	△ 2,250程度

(億円未満切り捨て)

## ■ 個別

(億円)

	2011年度 予想(今回) (A)	2011年度 予想(4月公表) (B)	2010年度 実績 (C)	増減 (対4月公表) (A)-(B)	増減 (対前期) (A)-(C)
売上高	22,800	23,700	21,782	△ 900程度	1,020程度
営業損益	△ 1,850	1,150	1,578	△ 3,000程度	△ 3,430程度
経常損益	△ 2,100	900	1,310	△ 3,000程度	△ 3,410程度
当期純損益	△ 1,500	450	758	△ 1,950程度	△ 2,260程度

(億円未満切り捨て)

# 2011年度個別業績見通し①

3

	(億円)		
	2011年度 予想(今回) (A)	2011年度 予想(4月公表) (B)	増減 (A)-(B)
売上高 (営業収益)	22,800	23,700	△ 900 程度
営業費用	24,650	22,550	2,100 程度
営業損益	△ 1,850	1,150	△ 3,000 程度
経常損益	△ 2,100	900	△ 3,000 程度
当期純損益	△ 1,500	450	△ 1,950 程度

## 【営業損益の主な変動要因】

(億円)

浜岡原子力発電所全号機停止 による収支影響	△ 3,000
(燃料費の増加)	(△ 2,850)
(長期停止火力機立ち上げ費用等)	(△ 150)
経営効率化による費用削減	+ 350
電灯電力料収入の減少 など	△ 350
<b>営業損益への影響</b>	<b>△ 3,000</b>

## ■ 主要諸元

(億円未満切り捨て)

項目	2011年度 予想(今回) (A)	2011年度 予想(4月公表) (B)	増減 (A)-(B)	変動影響額
販売電力量 (億kWh)	1,271程度	1,275程度	△ 4程度	1% 40億円
原油CIF価格 (\$/b)	110程度	110程度	-	1\$/b 80億円 ※1,2
為替レート(インターバンク) (円/\$)	85程度	85程度	-	1円/\$ 117億円 ※1
原子力利用率 (%)	8程度	84程度	△ 76程度	1% -
出水率 (%)	102程度	100程度	2程度	1% 10億円

※1 燃料費に対する変動影響額を記載しています。なお、原油CIF価格および為替レートの変動については、平均燃料価格が変動する場合に燃料費調整制度が適用され、収入に反映されます。

※2 LNG価格は原油価格の影響を受けることから、影響度合いを考慮して算定しています。

# 2011年度個別業績見通し②

4

(億円)

	2011年度 予想(今回) (A)	2010年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
売上高 (営業収益)	22,800	21,782	1,020 程度
営業費用	24,650	20,204	4,450 程度
営業損益	△ 1,850	1,578	△ 3,430 程度
経常損益	△ 2,100	1,310	△ 3,410 程度
当期純損益	△ 1,500	758	△ 2,260 程度

## 【営業損益の主な変動要因】

(億円)

販売電力量の減少 (燃料費差引後)	△ 320
収入単価の上昇	+ 1,490
燃料価格の上昇	△ 2,340
原子力発電量の減少	△ 1,670
購入電力料の増加 など	△ 590
<b>営業損益への影響</b>	<b>△ 3,430</b>

(億円未満切り捨て)

### ■主要諸元

項目		2011年度 予想(今回) (A)	2010年度 実績 (B)	増減 (A-B)
販売電力量	(億kWh)	1,271程度	1,309	△ 38程度
原油CIF価格	(\$/b)	110程度	84.2	26程度
為替レート(インターバンク)	(円/\$)	85程度	86	△ 1程度
原子力利用率	(%)	8程度	49.7	△ 42程度
出水率	(%)	102程度	107.6	△ 6程度

2011年5月10日公表

電力の安定供給に不可欠な設備の形成・運用のための投資を継続的に進めつつ、安定的に株主のみなさまのご期待にお応えするため、

現行の配当水準(1株当たり年間60円)の維持に努めていく

ことを基本とする

## 当資料取扱上のご注意

当資料に記載の将来の計画や見通し等は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。

これらの将来の計画や見通し等は、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向等により、実際の結果とは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

また、当資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。